

第 58 回 処方と薬の情報研究会

「高齢者薬物療法と薬剤師の役割」

開催日時：平成 29 年 9 月 2 日 土曜日 15 時～18 時

開催場所：東京大学薬学部総合研究棟 2 階 講堂

主催：東京大学医学部附属病院薬剤部

15:00-15:05

開会の辞

15:05-16:05

講演 高齢者薬物療法とポリファーマシー（仮）

東京大学大学院医学系研究科 加齢医学講座 老年病科 助教

小島 太郎

16:05-16:35

講演 高齢者薬物療法における病棟薬剤師の役割（仮）

東京大学医学部附属病院 薬剤部

白根 達彦

<休憩 10 分>

16:45-17:25

講演 地域連携における薬局薬剤師の役割（仮）

クリーン薬局

大木 一正

17:25-17:55

講演 在宅緩和ケアにおける薬局薬剤師の役割（仮）

あけぼの薬局 在宅支援室

坂本 岳志

17:55-18:00

閉会の辞

なお、本プログラムは予定であり変更になる場合もございます。

高齢化に伴い、高齢者に対する医療の需要は益々高まっており、その質の改善も求められています。多病と多様性を抱える高齢患者に対して適切かつ安全な医療を提供するためには、医師と薬剤師の連携はもちろんのこと、薬-薬連携や地域連携も重要となってきます。そこで本研究会では、医師・病院薬剤師・薬局薬剤師の立場から、高齢者医療の現状と問題点ならびに、地域連携と在宅医療における薬剤師の役割についてご講演頂く予定です。疾患予防から在宅緩和ケアに至るまで、高齢者の病態・生活機能に応じた医療・薬物療法の実際について理解を深めることで、日常業務における一助となれば幸いです。

なお、本プログラムは予定であり変更になる場合もございます。
当日参加も可能ですが、テキストの準備等、概ねの参加人数を把握したいため、可能な限り8月10日までに以下の連絡先にメールで事前参加予約をお願い致します。

連絡先（事前予約）： 薬剤部副部長 長瀬幸恵
電話 03-5800-8718（直通） Email shoho-kenkyukai@umin.ac.jp

